

世界自閉症啓発デー 2018 静岡

講演会とシンポジウムの開催（速報）

本年も下記のとおり「世界自閉症啓発デー 2018 静岡」の取り組みとして講演会とシンポジウムを企画しています。詳細など決まっていないことがありますので、速報版としてお知らせいたします。参加申し込み案内など正式な案内は来週の12日頃に公開する予定です。

1. 講演会

（1）浜松会場（アクトシティ浜松 研修センター） 3月18日（日）

午前の部（講演）	午後の部（講演）
（講師）安倍陽子先生 横浜市東部地域療育センター 臨床心理士	
「自閉症スペクトラムの理解と支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 療育や支援を行なうためには、障害についての正しい理解と一人ひとりを理解し、それぞれに合った支援を行なうことが大切です。子育てや療育を行う上で理解しておきたい基本のお話をさせていただきます。	「幼児期・学齢期の支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 早期療育の大切さがいわれますが具体的にはどのようにしたらよいのでしょうか。療育の事業所や家庭における基本的な考え方と事例を中心にご紹介いただきます。
（講師）門眞一郎先生 児童精神科医	
「知的に高い人の支援」 ○対象とする人 知的障害がない、あるいは軽度 思春期から成人期の人 ○話のポイント 知的障害がない、軽度であるということは障害が軽いということではありません。知的に高い人の抱える困難性、つらさや、支援についてお話いただきます。	「コミュニケーションの課題と支援」 ○対象とする人 知的に重度の人から軽度の人まで 幼児期から成人期まで ○話のポイント 意思疎通がうまくいかないことが、自閉症の特性を持つ人の生活のさまざまな場面で課題となっています。このことの理解と支援についてお話いただきます。
（講師）木村重之先生 横浜やまびこの里 東やまたレジデンス 副施設長	
「成人期における施設の利用と支援」 ○対象とする人 成人期 知的に重度の方 ○話のポイント 成人期における日中支援や施設、グループホームなどにおける各種の支援について具体的な事例を含めてお話いただきます。	「生きる力を育てる」 ○対象とする人 学齢期から成人期 知的に中程度から重度の方 ○話のポイント 誰でも、大人になって自立できる力を育てたいと考えますが、自立とはどのようなことでしょうか。何でも一人でできるということは簡単ではありません。それぞれの持つ力に応じた自立について考えます。

(2) 静岡会場（グランシップ） 3月25日（日）

午前の部（講演）	午後の部（講演）
（講師）安倍陽子先生 横浜市東部地域療育センター 臨床心理士	
「自閉症スペクトラムの理解と支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 療育や支援を行なうためには、障害についての正しい理解と一人ひとりを理解し、それぞれに合った支援を行なうことが大切です。子育てや療育を行う上で理解しておきたい基本のお話をさせていただきます。	「幼児期・学齢期の支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 早期療育の大切さがいわれますが具体的にはどのようにしたらよいのでしょうか。療育の事業所や家庭における基本的な考え方と事例を中心にご紹介いただきます。
（講師）日詰正文先生 厚生労働省・発達障害対策専門官	
「働く力を伸ばす、持てる力を生かす」 ○対象とする人 学齢期から成人期まで ○話のポイント 大人になったら、就職し経済的に自立できるようになりたいということは、誰でもが思うことです。まあ、実際には、知的な障害の軽重や得意・不得意の違いなど、いろいろな方がおられますので、それぞれの人が持っている力を伸ばすこと、持てる力を生かす考えが大切です。	「学齢期から成人期の制度と先進事例」 ○対象とする人 学齢期から成人期まで ○話のポイント 支援のための各種の制度と、日本各地の先進事例の紹介をさせていただきます。

(3) 沼津会場（サンウェル沼津） 3月31日（土）

午前の部（講演）	午後の部（講演）
（講師）安倍陽子先生 横浜市東部地域療育センター 臨床心理士	
「自閉症スペクトラムの理解と支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 療育や支援を行なうためには、障害についての正しい理解と一人ひとりを理解し、それぞれに合った支援を行なうことが大切です。子育てや療育を行う上で理解しておきたい基本のお話をさせていただきます。	「幼児期・学齢期の支援」 ○対象とする人 幼児期から学齢期 知的には重度から高機能の方まで ○話のポイント 早期療育の大切さがいわれますが具体的にはどのようにしたらよいのでしょうか。療育の事業所や家庭における基本的な考え方と事例を中心にご紹介いただきます。
（講師）松尾浩久先生 特定非営利活動法人 HEROES 理事長	
「成人期における就労支援と施設利用」 ～西陣麦酒の取り組みから～	「行動障害の伴う人の支援」 ○対象とする人

○対象とする人 学齢期から成人期まで ○話のポイント 大人になったら就職できるか、それとも施設利用がよいかと心配される方は多いと思います。松尾先生は京都市で自閉症の人たちと一緒に西陣麦酒の醸造・販売に取り組まれています。この実践を中心にお話いただきます。	学齢期から成人期まで ○話のポイント 不登校、行動障害など困難な課題を抱える人の理解と支援についてお話をさせていただきます。
---	---

2. シンポジウム

各会場ともに講演会終了後の15：00頃からシンポジウムを行い、保護者、支援者、講師で「自閉症スペクトラムの特性を持つ人の幸せ」について考えたいと思います。

※ シンポジストなど詳細は調整中です。

以 上